

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 20年 1月
(第1～5週)

発行年月日：平成20年(2008年) 2月21日
発行 行：滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年		感染症 類型	疾 病 名	平成 20年		平成 19年	
		1月	1～12月	1月	1～12月			1月	1～12月	1月	1～12月
		滋賀県	全 国	滋賀県	全 国			滋賀県	全 国	滋賀県	全 国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	ニバウイルス感染症	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	1	0	98
	痘そう	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	10
	南米出血熱 ^(*)	0	0	0	0		ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		鼻疽 ^(*)	0	0	0	0
二類	ラッサ熱	0	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0	1	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	ペネズエラウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	
	結核 ^(*)	16	1,643	178	20,151	ヘンドラウイルス感染症 ^(*)	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	
三類	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	3	
	コレラ	0	1	0	12	マラリア	0	3	1	52	
	細菌性赤痢	0	34	12	450	野兔病	0	0	0	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	2	63	55	4,586	ライム病	0	0	0	12	
	腸チフス	0	3	0	47	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	
四類	バラチフス	0	2	1	22	リフトバレー熱 ^(*)	0	0	0	0	
	E型肝炎	0	3	1	54	類鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	レジオネラ症	2	75	8	655	
	A型肝炎	0	21	1	154	レプトスピラ症	0	0	0	34	
	エキノコックス症	0	1	0	16	ロッキー山紅斑熱 ^(*)	0	0	0	0	
	黄熱	0	0	0	0	五類	アメーバ赤痢	0	62	15	781
	オウム病	0	0	0	30		ウイルス性肝炎	1	21	2	231
	オムスク出血熱 ^(*)	0	0	0	0		急性脳炎	0	25	2	216
	回帰熱	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	0	0	6
	キャサヌル森林病 ^(*)	0	0	0	0		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	9	4	148
	Q熱	0	0	0	7		劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	0	10	1	96
	狂犬病	0	0	0	0		後天性免疫不全症候群	0	89	9	1,449
	コクシジオイデス症	0	0	0	3		ジアルジア症	0	6	1	56
	サル痘	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	1	0	17
	腎症候性出血熱	0	0	0	0		先天性風疹症候群	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0		梅毒	0	45	2	714
ダニ媒介脳炎 ^(*)	0	0	0	0	破傷風		0	5	0	88	
炭疽	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0	0	0	0	
つつが虫病	0	29	0	370	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	6	0	80	
デング熱	0	6	1	89	風しん		0	36	-	-	
東部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	麻疹		0	1,164	-	-	
鳥インフルエンザ	0	0	0	0							

(*)：平成19年4月1日から集計 -：平成19年は定点把握対象疾患のため未集計

滋賀県における全数報告 感染症の概要(1月)

<結核>

性別：男性 12名、女性 4名
類 型：患者 13名
疑似症患者 1名
無症状病原体保有者 2名
病 型：肺結核 11名
その他の結核 5名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別：男性 1名、女性 1名
年 齢：23歳、24歳
血清型・毒素型：
O157・VT1&VT2 2名
推定感染経路は経口感染および不
明で、推定感染地域は日本国内です。

<レジオネラ症>

男性：54歳、女性：94歳
2名とも推定感染経路は水系感染
で、推定感染地域は日本国内です。

<ウイルス性肝炎>

男性：26歳
推定感染経路は異性間性的接触
で、推定感染地域は日本国内です。

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

1月の概要

<インフルエンザ>

第3週(1/14~1/20)には、県全体の定点当たり患者数が11.17となり「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」における注意報発生基準値(10.0)を超えたため、県は1月24日に県下全域にインフルエンザ注意報を発令しました。

<小児科定点疾患>

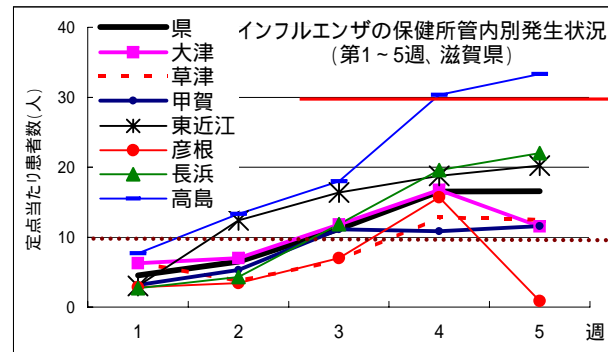
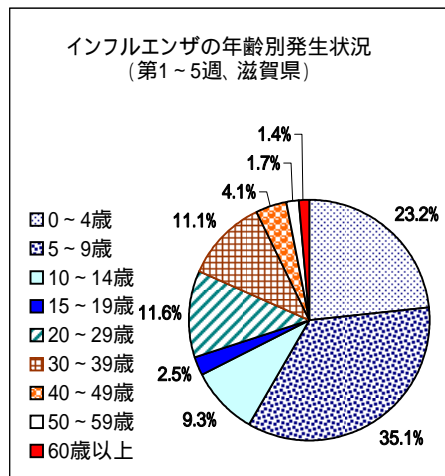
各疾患の発生状況については疾病別定点当たり患者数のグラフに示すとおりですが、先月より増加した疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)、突発性発しんおよび流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)でした。特に、流行性耳下腺炎は彦根からの報告がやや多くなっていました。また、平成19年第50週(12/10~12/16)以降県下全域に警報の発令が出されていた感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり患者数がかなり減少したため第5週(1/28~2/3)に解除されました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月よりやや増加し、草津、甲賀および長浜からの報告がありました。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎および無菌性髄膜炎は大津から報告され、マイコプラズマ肺炎は先月とほぼ同数の報告数でした。クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

インフルエンザ発生状況(第1~5週、H19.12.31~H20.2.3)

<各定点の対象疾患>



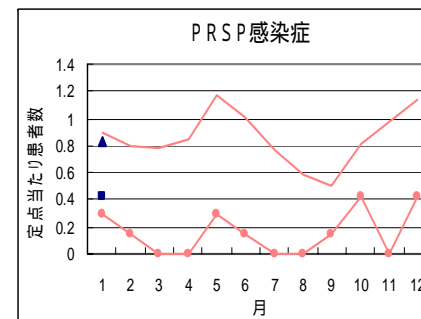
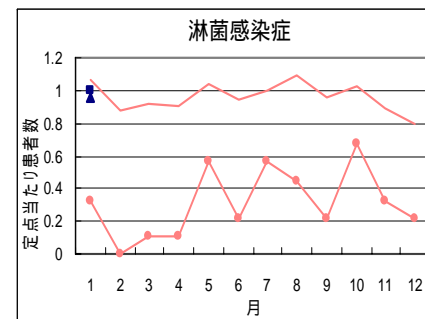
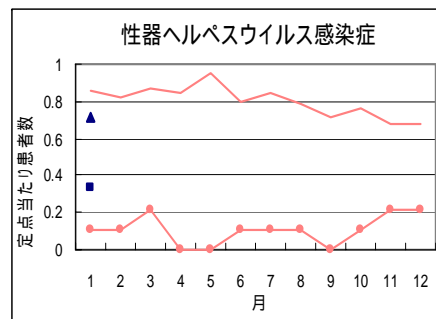
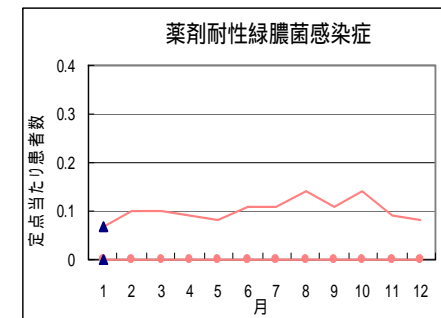
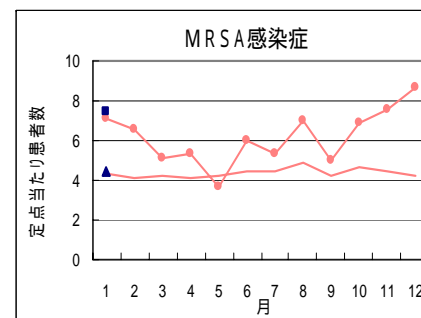
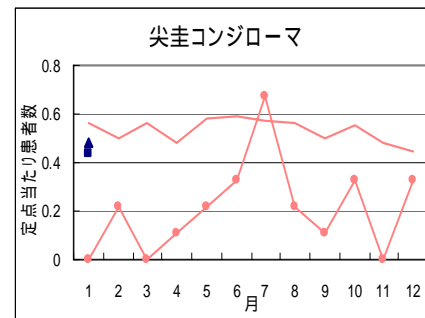
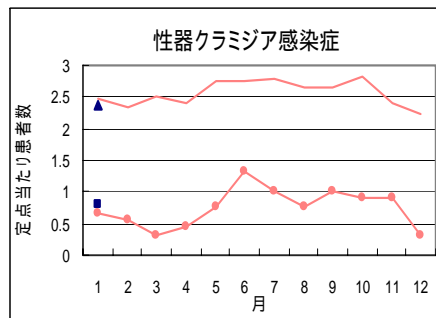
年齢別では5~9歳 35.1%、0~4歳 23.2%、20~29歳 11.6%、30~39歳 11.1%の順に多くなっています。保健所管内別の発生状況では、第2週(1/7~1/13)以降増加傾向を示し、第3週(1/14~1/20)には県全体の定点当たり患者数が注意報発生基準値(10.0)を超えました。また、第4週(1/21~1/27)には高島で警報開始基準値(30.0)を超えました。

定点	疾患名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成20年 1月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	7												7
	定点当たり	0.78												0.78
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3												3
	定点当たり	0.33												0.33
尖圭コンジローマ	罹患数	4												4
	定点当たり	0.44												0.44
淋菌感染症	罹患数	9												9
	定点当たり	1.00												1.00
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	52												52
	定点当たり	7.43												7.43
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	3												3
	定点当たり	0.43												0.43
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0												0
	定点当たり	0												0



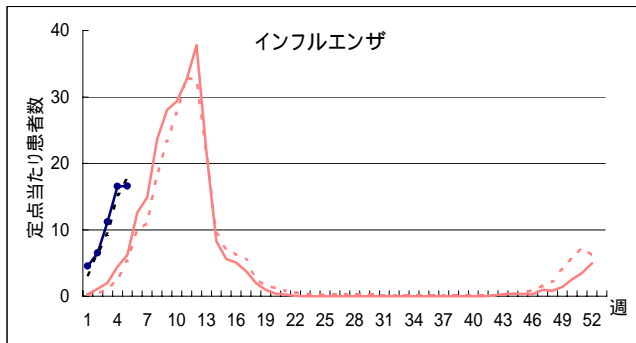
戻る

*平成20年1月のデータは、全国、滋賀として表示しています。

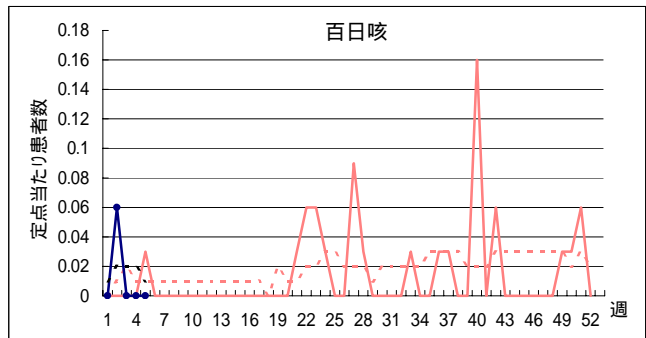
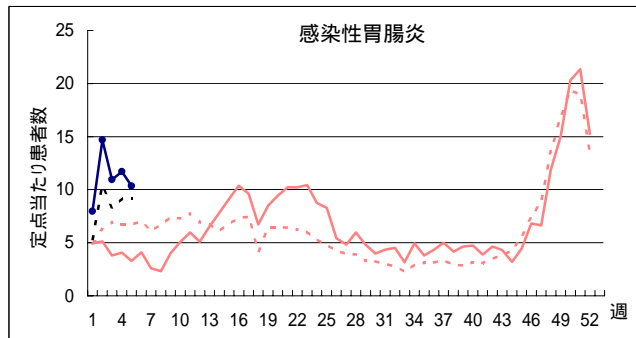
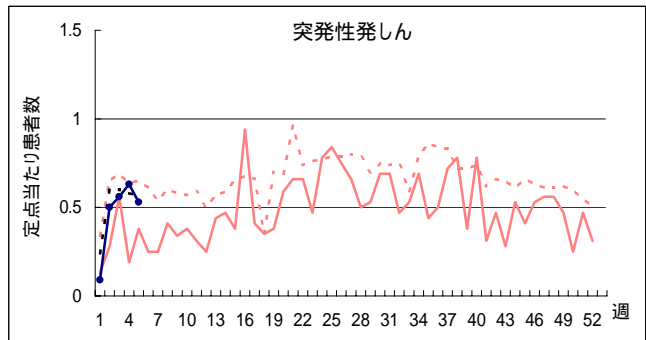
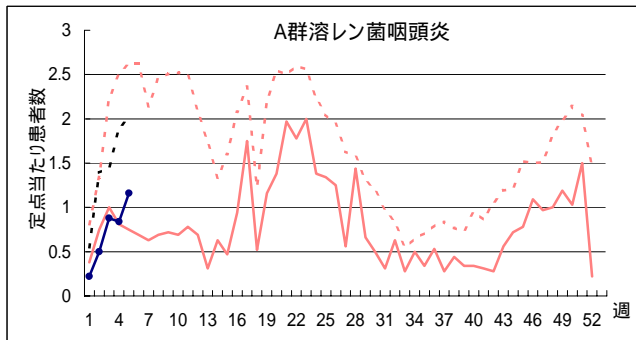
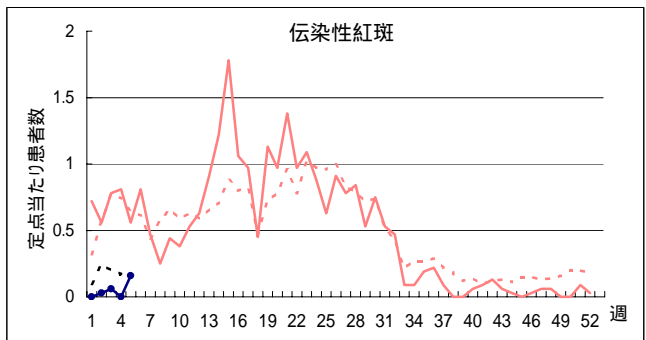
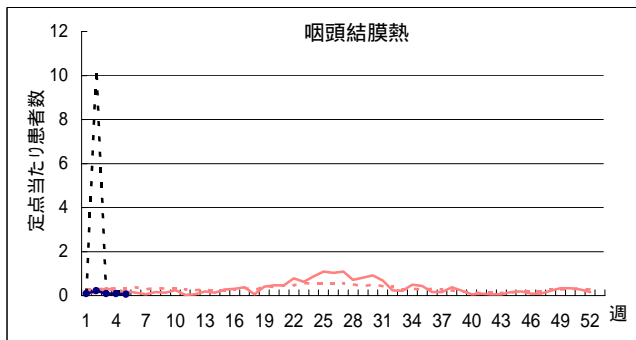
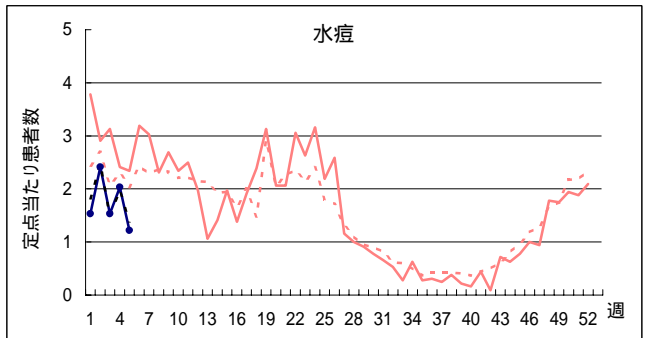
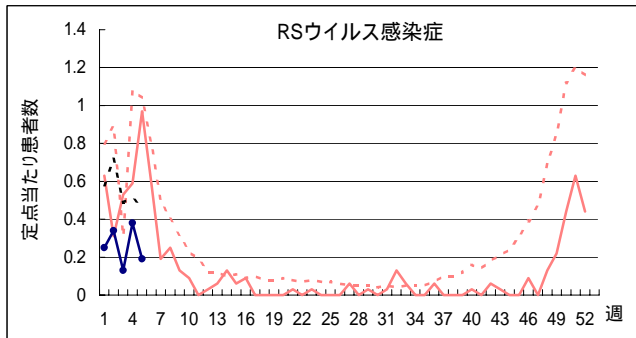
H19 { 滋賀 ●●●●●
全国 ○○○○○○
H20 { 滋賀 ■■■■■
全国 ●●●●●

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

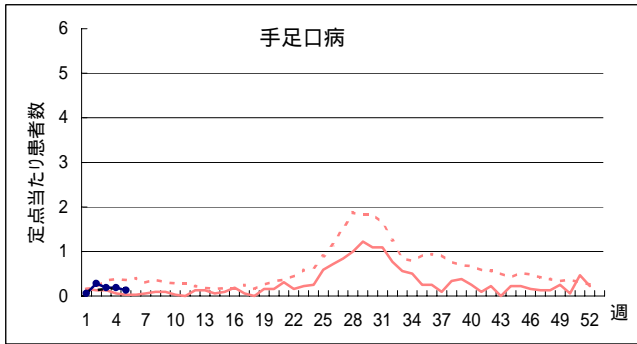
疾病別定点当たり患者数(平成20年第5週、H19.12.31~H20.2.3)



H19 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第5週、H19.12.31～H20.2.3)



H19
 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H20
 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)

